平成27年8月号 Vol.53

兵庫県男女共同参画推進本部

ひょうご男女共同参画ニュース

7/7

「ひょうご女性の活躍推進会議」スタート
～女性活躍推進に向けたより具体的な行動を展開～

７月７日、兵庫県民会館(神戸市中央区)において「ひょうご女性の活躍推進会議」発足会が開催されました。「女性の活躍」を一層促進していくため、井戸知事をはじめ、様々な分野で活躍する女性や経済・労働団体等のリーダー16 人が発起人となり発足したものです。

最初に、内閣府男女共同参画局長を務めるなど女性政策に深く携わり、「女性の品格」の著者でもある坂東眞理子さん(昭和女子大学学長)が「女性の活躍推進」をテーマに基調講演。「男性と同じ働き方をするのが女性の活躍ではなく、女性自身がそれぞれの個性を発揮できる新しい働き方を作りだしていくことが大切。」と話されました。

続いて行われた「発起人からのメッセージ」では、発起人ら 10 人が登壇し、「人口減少社会を迎えた今、『女性活躍』は社会全体で取り組むべき課題。」「活躍する女性のロールモデルを増やしてほしい。自らもロールモデルとなり、後輩に背中を見せてほしい。」「長時間労働を是とする風土や意識の改革が必要。」「『女性活躍』を機に、男女共に働きやすい会社づくりを進めていかなければならない。」など、女性活躍に向けた決意や課題を熱く訴えました。

最後に、一人ひとりがそれぞれの果たすべき役割を認識し、「社会全体の気運醸成と意識改革」「男女が共に仕事と家庭を両立し、女性が活躍できる環境の整備」「女性が個性や能力を発揮できる機会の拡大」等に取り組んでいくことなどを謳った「ひょうご女性の活躍行動宣言」が、会場に集まった 330 名の拍手をもって採択されました。

今後、推進会議では、企業表彰、個別企業への支援、セミナーの開催、先進事例の情報収集・発信などに取組んでいきます。

（問）県男女家庭課 078-362-3160

7/3

平成 27 年度 県婦人大会 「婦人会は地域の要（かなめ）」

県連合婦人会は、「ふるさと兵庫～安全元気やさしい兵庫づくりのために、今、家族・地域の絆を再生しよう～」をテーマに、養父市八鹿文化会館で兵庫県婦人大会を開催し、約 600 人が参加しました。

県連合婦人会の北野会長は、「婦人会は過去より多くの方の協力により地域のために活躍をしてきた。少子化問題が取りざたされる今日においても、子ども達の見守りをはじめ大きな役割を担っている。そのためにも家族･地域を大切にし、地域に根ざした活動に取り組んでいきましょう。」と挨拶しました。

その後、井戸知事が「安全安心と元気の創造」と題して講演し、「地域のつながりを見直し『地域の元気』『地域の魅力』を生み出すため、女性の知恵と声を発揮し、生活者の視点から『地域の要(かなめ)』として、引き続き積極的な活動を期待したい。」と呼びかけました。

（問）県男女家庭課 078-362-3160

平成 27 年版男女共同参画白書を公表 ～地域の活力を高める女性の活躍～

内閣府より平成 27 年版男女共同参画白書が公表されました。今回の白書では、「地域の活力を高める女性の活躍」を特集しています。女性の活躍の現状や就業・生活の状況は地域により一様ではないことから、それぞれの地域の特徴を十分に踏まえた上で、取組を進めていくことが求められています。

本特集では、政府が近年進めてきた取組をまとめるとともに、女性の活躍の現状や男女の仕事と暮らしについて、都道府県別の状況を明らかにしながら、各地域の女性の活躍を通じて活力を高めていくための課題等を整理しています。

詳細は下記ホームページをご覧ください。
http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h27/zentai/index.html

（問）県男女家庭課 078-362-3160

イーブン事業報告

男女共同参画セミナー

男女共同参画概論
～「男女共同参画社会」って何だろう？

7/2　講師：勝木　洋子さん(神戸親和女子大学発達教育学部教授)

勝木さんが統計資料や最近のニュースなどを例に挙げ、参加者同士が話し合い、身近な問題を考えました。「外国では議員が育児休業を取得しているが、日本の議員には産前産後休暇もない。議員は男という前提？」「審議会委員に女性が少ない。人口は半々なのに。」など、いくつもの「なんでやねん」から、当たり前と思っていることに疑問を持つことの大切さを学びました。

勝木さんは「男女共同参画は人権。一人ひとりが自分らしく生きられることが大切で、それにはまず自分を大切にし、相手も大切にすること。」と締めくくり、最後にYou Tubeの「diversity & inclusion Love Has No Labels」を紹介しました。ぜひご覧下さい。

変容する現代家族
～多様な家族のカタチを考える～

7/2　講師：神原　文子さん(神戸学院大学現代社会学部教授)

「働く父＋支える母＋子ども」こんな家族のイメージが崩れつつあります。

神原さんは、「これまでは、夫と妻など、役割や力関係、愛情関係などで家族を捉えてきたが、生活者中心の家族へと変わってきた。家族と考える範囲は人によって違う。『ペットも家族』という考えを否定はできず、それぞれが家族と思うものが家族。自分らしい生き方とそれに合う家族やライフスタイルを選択し、多様な家族のあり方や生き方へ送り出す力をつけるのが親の役割で、それをバックアップするのが政治、社会制度。」と話しました。

地域における男女共同参画の推進
～それぞれの課題の違いを事業に生かす

7/16　講師：森屋　裕子さん(NPO フィフティネット代表)

第1部では森屋さんが、地域における男女共同参画の推進について、講習、研修などの知識習得や意識啓発を中心とする取り組みから、そこに住む人々が抱える課題を解決するための実践的活動中心の取り組みへと進んでいかなければならないと講演。

第2部のパネルディスカッションでは小野市、養父市のセンター職員が各センターや地域の特徴、地域課題とそれに対する取り組みなどを具体的に紹介しました。

参加者からは「地域ごとに課題は様々であり、自分の地域について考えていきたいと思った。」「男女共同参画センターは地域課題解決の最前線である、というのが印象に残った」との感想が聞かれました。

見えにくい女性の貧困～社会保障制度と労働の現状から考えよう～

7/16　講師：田宮　遊子さん(神戸学院大学経済学部 准教授)

田宮さんは、貧困を「その社会で『あってはならない』とされる生活水準、あたりまえにしていることができていない状態」と捉えると、先進国の中での貧困も可視化できることや、子どもや高齢者の貧困の背景には女性の多様な生き方や働き方を前提としない社会保障制度の問題があることを解説しました。

年金制度についてもわかり易い説明があり、参加者からは「女性の多様な生き方が貧困のリスクにつながることがよくわかった。」「社会保障制度によって女性の貧困が生まれ、そこにはサラリーマンと専業主婦という高度経済成長期のモデルがある。その改正が必要と感じた。」という感想が寄せられました。

（問）県立男女共同参画センター078-360-8550

6/30　女性のための働き方セミナー『趣味を活かして仕事を創ろう』

たみのともみさんを講師にお迎えして、少人数制の起業応援セミナーを実施しました。定員の３倍を超える応募に午後の部を追加するほどの人気講座でした。

友達の後押しにより「名前入りの詩」を描き、イベントで販売を始め、「世界でひとつのなまえアート」としてインターネットなどで仕事に仕上げていった苦労話や成功談をお話しいただきました。

グループワークでは、２人１組になってアドバイスや提案を伝え合うことで、新しい考え方や方向性を見つけるヒントを得ることができ、参加者からは「ヒントになるような言葉をたくさんもらえた。」「明日から前向きに歩けそう。」などの感想がありました。

（問）県立男女共同参画センター078-360-8550

男女共同参画推進員地域ブロック事業紹介

但馬

台風第11号が接近中の7月16日、但馬地域連絡会議美方郡地区会が「親子防災教室」を開催。

基本的な災害に備えての知識に加えて、乳幼児親子ならではのアドバイスや非常食の試食、持ち出し品の重さ体験もありました。

重いリュックを背負って子どもを抱っこする大変さを実感し、どう工夫するか、子どもに何を教えるかなど意見が飛び交っていました。

東播磨

多彩なプログラムで楽しみながら男女共同参画について考えるイベントを開催します。

「大人も子どもも　みんな笑顔でつながろう!」

日時：9月6日(日)11:00～15:30

場所：東播磨生活創造センター「かこむ」1階

内容：認知症サポーター養成講座、男女共同参画の紙芝居とお話、ひょっとこおどり、ギターとマンドリン演奏、ジャグリング、バルーンアート、マジック、防災パネル・グッズの展示とミニ講話、折りがみ教室、保育園児の絵展示

(問)県立男女共同参画センター―078-360-8550

姫路市 6/20

男女共同参画週間講演会
自分をすり減らさない生き方～男らしさ、女らしさにとらわれない～

姫路市男女共同参画推進センター"あいめっせ"は、男女共同参画週間講演会として、深澤真紀さん講演会「自分をすり減らさない生き方～男らしさ、女らしさにとらわれない～」を開催。

深澤さんが名付けた「草食男子」はイマドキの若者をほめた言葉であるにも関わらず、ご本人の意図とは別にひとり歩きし、「女性がもてないのは、車が売れないのは、草食男子のせい」と悪い意味として広まった経緯を紹介するなど、イマドキの若者に対する多角的な考察を展開。その上で、ニュースに惑わされない読み方・捉え方について、実例やデータを交えてお話いただきました。

「自分の取扱説明書をつくって自分を知ろう。物事を否定することよりもできることをしよう。一人ひとりが自分のために生きて、自分の守りたいものを守れれば十分。機嫌よく生きよう。」と締めくくりました。

ユーモアを交えた軽妙な語り口に、会場は大いに盛り上がりました。

(問)姫路市男女共同参画推進センター―079-287-0803

◆◆ がんばる企業 ◆◆

■会　社　名：新日鐵住金株式会社広畑製鐵所(姫路市)

■代　表　者：所長　岩崎　正樹

■事業内容：鉄鋼製品(薄板)の製造

■従業員数：1209人

■URL：http://www.nssmc.com/

世界最大級の鉄鋼メーカー、新日鐵住金株式会社の製造拠点の1つである広畑製鐵所は、近年、優秀な人材を確保するためには女性の存在が不可欠と考え、女性を積極的に採用。製造現場でキャリアアップできるようハード、ソフト面の両面からバックアップしています。

女性を雇用するに当たり、製鉄所内に女性用トイレや更衣室を設置。独身寮には、女性専用のフロアを設けるなど設備面での充実を図っています。ソフト面では、仕事や体調のことを相談できる女性相談員を配置。また、製鉄所内で働く女性が集まり交流できる「女性会」を定期的に実施。

さらに、キャリアリターン制度(注1)、ワークライフサポート制度(注2)など育児支援関連の制度が充実しており、男女関係なく、定年まで働くことができる環境が整っています。

女性が入社したことで、今まで男性目線では気づかなかった作業工程の改善に取り組む同社。製造現場では、結婚・出産後も3交替勤務ができる環境を検討していくなど、これからも、誰もが活き活きと働ける環境づくりに尽力していきます。

(注1)キャリアリターン制度…出産・育児、介護、配偶者転勤のために退職した社員について再入社を認める制度

(注2)ワークライフサポート制度…子育て費用の一部を会社が負担する制度

(問)県男女家庭課　078-362-3160

★仕事づくりセミナー～起業への一歩を踏み出そう～★

起業をめざしている方を対象に、個人事業主として必要な基礎知識を学ぶとともに、事業計画書の作成や営業活動の手法等についてグループワークやディスカッションを通じて学び合います。

◆開催日時・内容

開催日時	内容
8/29(土) 9:45～16:00	●仕事づくりの先輩に聞く「夢を実現する起業」 ●ボードゲームで創業体験
9/5(土) 10:00～ 16:00	●創業支援のための制度を知ろう！ ●事業計画って何？ ●やってみれば簡単？お金の計算 ●お金を生む仕組みを考えよう
9/12(土) 10:00～ 16:00	●お店や会社のつくりかた ●起業に活かす！インターネット･ICT ●プレゼンテーションを極める ●チラシ･インターネットで強みをアピール
9/19(土) 10:00～ 16:50	●経営者の目でみる社会保険 ●プレスリリースのポイント ●プレゼンテーション大会　　●交流会

◆会　　場　県立男女共同参画センター セミナー室
◆定　　員　３０名(先着順)
◆受 講 料　2,000円(テキスト代)※別途交流会費必要
◆申込方法　インターネットでセンターのホームページから、又は申込書に必要事項を記入の上、センター宛FAX･郵送･持参

★「ひょうご女性未来･縹(はなだ)賞」候補者募集★

様々な分野で活動する女性たちのネットワーク「ひょうご女性未来会議」では、地域・社会で活躍する女性を表彰し応援するため、「平成27年ひょうご女性未来･縹賞」の被表彰候補者を募集しています。

◆推薦基準

兵庫県内在住、在勤、在学、又は兵庫県を活動拠点としている概ね40歳までの女性で、各分野で顕著な功績のある方、新しい時代を切り拓く活動を行っている方など

◆推薦方法

所定の用紙をセンターに郵送又は持参(自薦・他薦は問いません)

◆応募締切　9月4日(金)

◆表 彰 式

【日時】11月23日(月･祝) 13:00～
【場所】県立姫路労働会館

※講座の詳細は、下記までお問い合わせください。

兵庫県立男女共同参画センター・イーブンの相談窓口

種類	相談方法	電話番号等	実施日時	
女性のためのなやみ相談（女性カウンセラー）	電話（直通）	078-360-8551	月～土曜日	9:30～12:00 13:00～16:30
	面接（要予約）	078-360-8554	月～金曜日 土曜日	11:00～18:40 9:20～16:50
法律相談（女性弁護士）	面接のみ　※なやみ相談(面接)後に予約		毎月　第２火曜日（原則）	
男性のための相談(男性臨床心理士)	電話	078-360-8553	毎月第１・３火曜日	17:00～19:00
女性のためのチャレンジ相談（女性社会保険労務士等）	電話・面接 (電話･面接とも要予約)	078-360-8554	毎月第１～４木曜日	10:00～13:00
女性就業相談室ハローワーク相談窓口	問い合わせ(電話相談不可)	078-360-8260	月～金曜日	9:00～17:00
情報相談（情報アドバイザー）	電話（直通）	078-360-8557	月～土曜日	9:00～17:00
不妊・不育専門相談（助産師等）	電話（直通）	078-360-1388	毎月第1・3土曜日	10:00～16:00
	面接（要予約）	078-362-3250	毎月第2土曜日･第4水曜日	14:00～17:00
思いがけない妊娠ＳＯＳ（助産師）	電話（直通）	078-351-3400	月曜日と金曜日	10:00～16:00
	メール http://ninshinsos-sodan.com		随時受付。返信は原則として１週間以内	

ひょうご男女共同参画ニュース　平成27(2015)年8月号(Vol. 53)　※毎月1日発行
【編集･発行】 兵庫県立男女共同参画センター･イーブン、兵庫県男女家庭課
【問い合わせ】 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1－1－3 神戸クリスタルタワー7階 兵庫県立男女共同参画センター
TEL:078－360－8550　FAX:078－360－8558
【開館時間】 月～金曜日 9:00～19:00／土曜日 9:00～17:00　HP http://www.hyogo-even.jp/
【休館日】 日曜日、祝日、国民の休日、年末年始（12/28 ～1/4）　Facebook https://www.facebook.com/hyogo.even
このニュースは、関係機関や希望者に配信するとともに、**男女共同参画推進員**がお配りしています。ご希望の方は、上記にご連絡ください。